

県営下野日東部地区土地改良事業変更計画書

区画整理事業

(農業競争力強化農地整備事業(経営体育成型))

宮 城 県

目 次

第1章 目的	1	第4節 道路現況	12
第2章 地域及び地積	1	1. 道路概況	12
第1節 地域	1	2. 主要道路一覧表	12
第2節 地積	1	第5節 地域農業の概況	14
第3章 現況	2	1. 産業別就業人口	14
第1節 気象及び海象	2	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況	
1. 一般気象	2	並びに専兼業別農家数	14
2. 特殊気象	2	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	15
3. 海象	2	4. 主要作物作付状況	15
第2節 土地状況	3	5. 農業の動向	16
1. 地形、土壤及び侵食の程度	3	第6節 地域環境の概況	16
2. 土地分類	4	第4章 一般計画	17
3. 土地利用の状況	4	第1節 事業計画の要旨	17
4. 土地所有の状況	5	1. 要旨	17
第3節 水利状況	5	2. 事業別面積	17
1. 用水状況	5	第2節 営農計画及び土地利用計画	18
2. 排水状況	8	1. 営農計画の概要	18
3. 河川状況	11	2. 土地利用区分	18

3.	作付方式	19	第6節	農用地造成計画	33
4.	生産計画	20	1.	農用地造成計画	33
5.	労働改善計画	20	2.	土壤改良	33
6.	級地別土地利用区分	21	第7節	洪水調節計画	33
7.	土地配分計画	21	1.	計画基準雨量	33
第3節	用水計画	22	2.	計画洪水量及び調節量	33
1.	計画基準年	22	3.	貯水池	33
2.	計画かんがい方式	22	4.	洪水調節検討	34
3.	計画用水系統	23	5.	管理計画	34
4.	計画用水量	24	第8節	干拓計画	34
5.	水源計画	25	第9節	農用地整備計画	35
第4節	排水計画	27	1.	区画整理	35
1.	計画基準雨量	27	2.	暗渠排水	37
2.	計画排水方式	27	3.	客土	37
3.	計画排水系統	28	4.	農地保全	37
4.	計画排水量	29	第10節	老朽ため池改修計画	38
5.	排水対策	30	1.	洪水吐改修計画	38
6.	湛水検討	31	2.	堤体補強計画	38
第5節	道路計画	31	3.	取水施設改修計画	38
1.	道路及び索道	31			
2.	路線配置図	32			

第 5 章	主要工事計画	39	第 6 節	干拓施設	44
第 1 節	用水施設	39	1.	堤防	44
1.	貯水池	39	2.	潮止め	44
2.	頭首工	39	3.	付属施設	44
3.	揚水機	39	4.	埋立	44
4.	用水路	40	第 7 節	農用地整備施設	45
5.	その他かんがい施設	40	1.	区画整理	45
第 2 節	排水施設	40	2.	暗渠排水	45
1.	排水水門	40	3.	客土	46
2.	排水機	40	4.	除礫	46
3.	排水路	41	5.	農地保全	46
4.	その他排水施設	41	第 8 節	老朽ため池改修施設	47
第 3 節	道路及び索道	41	1.	貯水池	47
1.	道路	41	2.	堤体補強施設	47
2.	索道	42	第 6 章	附帯工事計画	48
第 4 節	農用地造成	42	第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	48
1.	農用地造成	42	第 8 章	環境との調和への配慮	48
2.	土壤改良	43			
第 5 節	洪水調節施設	43			
1.	貯水池	43			
2.	頭首工及び導水施設	43			

第 9 章	換 地 計 画 の 概 要	48
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	48
第 2 節	換 地 区 の 設 定	48
1.	換地区の名称、所在、面積	48
2.	換地区を設定する理由	49
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	49
1.	従前の土地の地積の基準	49
2.	用 途 別 予 定 地 積	49
3.	農用地集団化の方針	50
4.	非農用地換地の方法	50
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	50
1.	評 価 の 方 法	50
2.	清 算 の 方 法	50
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	51
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	51
第 10 章	事業費の総額及び内訳	51
第 11 章	効 用	52
第 12 章	関 連 す る 事 業	52
第 13 章	現 況 ・ 計 画 図 面	53

※事業変更計画書の記載方法

①計画内容に変更がある場合

変更前：上段赤書き

変更後：下段黒書き

②計画内容に変更がない場合は一段で黒書き。

第 1 章 目 的

本地区は、宮城県の北部、大崎市の北西部に位置し、一級河川江合川の上流右岸に展開する南北に細長く拓けた水田地帯である。

地区内の水田は、昭和31年～32年に行われた団体営事業により15a区画に整備されている。基幹の用排水施設は、国営かんがい排水事業により整備済みであるが、末端水路の大部分は用排兼用の土水路のため水管理に苦慮している状況である。また、農道は道路幅員が狭小であることと、道路に接していない水田があることから、近代的な営農に支障を来しており、担い手の育成を阻害している状況である。

よって本事業により、区画形状の拡大、用排水路の完全分離化を実現し、汎用耕地による土地利用集積を図り、土地利用型及び集約的農業の生産向上を目指すものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第 1 節 地 域

(第 1 表)

事 業 名	地 域
区画整理事業	宮城県大崎市岩出山

第 2 節 地 積

(令和4年6月現在)

(令和7年8月現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目 市町村名							計 (ha)	備 考
		田 (ha)	畑 (ha)	山 原 (ha)	林 野 (ha)	道水路敷 (ha)	そ の 他 (ha)		
区画整理事業	大崎市	181.4 181.2	4.3 2.0	0.0 0.1	24.4 23.5	0.2 0.2	0.2 0.2	210.3 207.0	
合 計		181.4 181.2	4.3 2.0	0.0 0.1	24.4 23.5	0.2 0.2	0.2 0.2	210.3 207.0	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	古川観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備考
観測期間	H14年～H23年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(°C)		19.9	7.1	11.3	
降水量	平均(mm)	529.5	640.3	1,169.8	
	基準年(mm)	-	-	-	
降水量	平均(日)	-	-	-	
	基準年(日)	-	-	-	
根雪期間		-月-日-月-日	-日間		
無霜期間		-月-日-月-日	-日間		
最多風向	WNW	最大風速 (風向)	21.0 m/s (-)	最多風向発生時期 -月～-月	最大風速発生年月日 -

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 古川観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	観測期間 S18～H23	数量	年月日 S23.9.16	発生確率 1/7188	数量	年月日 S61.8.5	発生確率 1/51.4	数量	年月日 S25.8.3	発生確率 1/17.9	数量	年月日 H23.9.21	発生確率 1/17.9	数量	年月日 S33.9.26	発生確率 1/12.8
最大日雨量 (mm)	342	S23.9.16	1/7188	181	S61.8.5	1/51.4	149	S25.8.3	1/17.9	149	H23.9.21	1/17.9	139	S33.9.26	1/12.8	
最大2日連続雨量 (mm)	355	S23.9.15	1/418	342	S23.9.16	1/331	241	H23.9.20	1/46.2	224	S61.8.4	1/32.2	200	H14.7.10	1/19.0	
最大3日連続雨量 (mm)	355	S23.9.15	1/432	355	S23.9.14	1/432	342	S23.9.16	1/331	246	H23.9.20	1/41.2	245	H23.9.19	1/40.3	
最大連続雨量 (mm)	355	S23.9.15	1/154	317	S39.8.20	1/69.8	272	H10.8.25	1/27.1	258	S22.9.7	1/20.2	250	H23.9.19	1/17.0	
最大連続旱天日数 (日)	50	H2.1.1	1/45.2	48	S53.11.14	1/30.1	47	S52.1.1	1/24.7	46	S56.1.8	1/20.4	45	S61.1.1	1/16.9	

3. 海象

該当なしに付き省略

(第3表-3)

観測所名	既往最高	さく望平	上下弦平	平均潮位	上下弦平	さく望平	既往最低	備考
観測期間	年～年	潮位(m)	均満潮位(m)	均満潮位(m)	均干潮位(m)	均干潮位(m)	潮位(m)	
実測値								

第 2 節 土 地 状 況

1. 地形、土壤及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畠・その他の								受益地標高(m)		備考
		傾斜	1/1,000	1/1,000	1/300	1/100	1/20	計	3°以下	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低		
区画整理事業	面積(ha)	-	59.8	121.6	-	-	181.4	4.3	-	-	-	-	-	4.3			T.P 53.24m	
	比率(%)	-	33.0	67.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0		100.0		
合計	面積(ha)	-	59.8	121.6	-	-	181.4	4.3	-	-	-	-	-	4.3			-	
	比率(%)	-	33.0	67.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0		100.0		

(第4表-1-2)

土壤統(区)名	項目	土壤統(区)区分一覧表										面積(ha)	備考		
		土壤断面													
		色	腐植層	礫層	酸化沈澱物	土性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層	堆積様式	母材				
						表土	下層土	一層							
グライ土壤強粘土構造型	2.5Y3/1	含む	なし	なし	C	SCL	HC	64～100	水積	非固結火成岩	77.4 (1.0) 77.4 (0.3)		E40		
礫質土壤壤土マンガツ型	2.5Y4/1	なし	富む	含む	SC	C	S	-	水積	非固結火成岩	64.0 (3.2) 63.8 (1.6)		K95		
灰色土壤壤土型	2.5Y4/2	なし	なし	なし	C	SL	-	-	水積	非固結火成岩	8.3 (-) 8.3 (-)		F52		
礫層土壤	10Y4/1	含む	富む	富む	C	SL	SL	-	水積	非固結火成岩	31.7 (0.1) 31.7 (0.1)		J91		
計											181.4 (4.3) 181.2 (2.0)	() は畠			

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壤の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食の程度		備考
		0	0~25%	~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
面積(ha)	率(%)											

2. 土地分類

該当なしに付き省略

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農用地造成									計 (ha)	備考	
	一級地 (ha)	二級地			三級地			四級地				
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)	
												※は傾斜以外の要因によるもの

該当なしに付き省略

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干拓					計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)			

3. 土地利用の状況

(令和4年6月現在)

(令和7年8月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	耕地						山林		採草	原野	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	放牧地 (ha)	(ha)			
区画整理事業	大崎市	181.4 181.2	4.3 2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	24.6 23.8	210.3 207.0	
合計		181.4 181.2	4.3 2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	24.6 23.8	210.3 207.0	

4. 土地所有の状況

(令和4年6月現在)

(令和7年8月現在) (第4表-4)

事 業 名	所 有 别 区 分	個 人 有		市 町 村 有	県 有	国 有	そ の 他	計	備 考
		面 積 (ha)	185.9 183.3	24.2 23.2	0.2	0.0 0.1	0.2 0.2		
区画整理事業	受 益 者 数 (人)	153 121		—	—	—	—	—	—
	筆 数 (筆)	2,758 2,732		936 948	— 19	8 15	18 18	3,720 3,732	—
	権 利 関 係	所 有 権	所 有 権	—	—	—	所 有 権	—	—
	備 考 (関係戸数)	182 171	—	—	—	—	—	—	—
合 計	面 積 (ha)	185.9 183.3	24.2 23.2	— 0.2	0.0 0.1	0.2 0.2	—	210.3 207.0	—
	受 益 者 数 (人)	153 121	—	—	—	—	—	—	—
	筆 数 (筆)	2,758 2,732		936 948	— 19	8 15	18 18	3,720 3,732	—
	権 利 関 係	所 有 権	所 有 権	—	—	—	所 有 権	—	—
	備 考 (関係戸数)	182 171	—	—	—	—	—	—	—

第 3 節 水 利 状 況

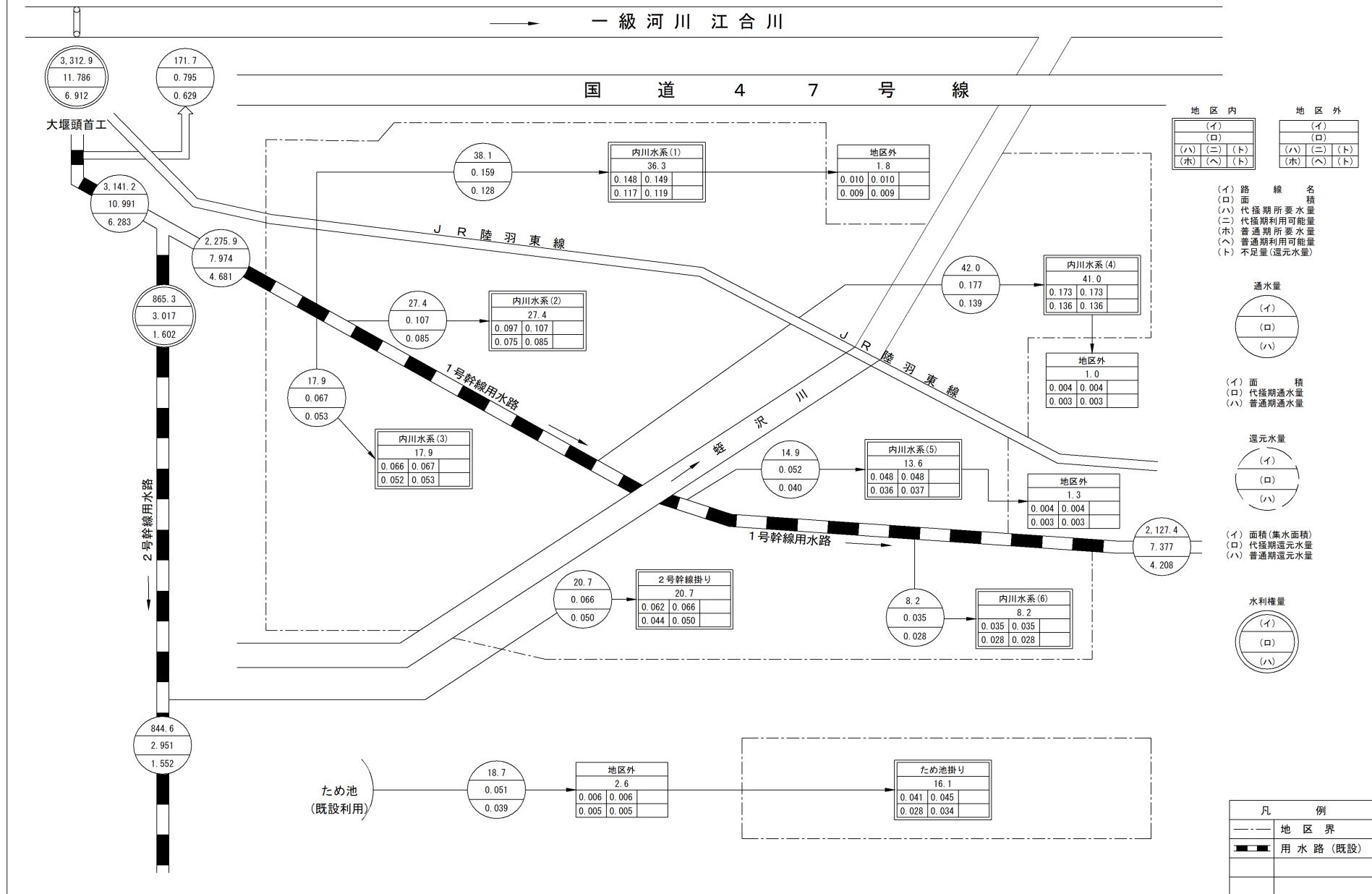
1. 用水状況

本地区の用水は、一級河川江合川に設置されている国営かんがい排水事業により整備された大堰頭首工から取水し、1号幹線用水路、第2幹線揚水機場、2号幹線用水路を経て、地区内の用水路に分水かんがいされる。また、一部ため池及び溪流水利用によりかんがいしている。

地区内の水路は、用排兼用土水路が主で水管理に支障を来している状況にある。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量 m³/s	備考		
		500ha以上		500~100ha		100ha未満											
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s				
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	1	18.7 (16.1)	1	18.7 (16.1)	-	-	-	-	0.047 (0.041)	既設利用 (ため池)		
	井堰	-	-	1	3,312.9 (165.3)	-	-	1	3,312.9 (165.3)	1	11.786 (0.647)	-	-	11.786 (0.647)	大堰頭首工		
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計		-	-	1	3,312.9 (165.3)	1	18.7 (16.1)	2	3,331.6 (181.4)	1	11.786 (0.647)	-	-	11.833 (0.688)			
				1	3,312.9 (165.1)	1	18.7 (16.1)	2	3,331.6 (181.2)	1	11.786 (0.629)	-	-	11.833 (0.670)			

() は地区内

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由		備考
							改修を必要とする理由		
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	-	-	-	
	井堰	-	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	
	用水路	-	181.4 181.2	土水路、BF、UF他	L=33,367m L=33,367m	S32、S56	老朽化、漏水、用排水分離		
	その他	-	-	-	-	-	-	-	
合計		-	181.4 181.2	-	L=33,367m L=33,367m	-	-		

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-3-1)

事業名 系統名	項目 かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 作物名 減産量(t)	備考		
			かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量					
			平均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)				

(イ) その他の被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				被害想定額(百万円)						備考	
	田	畠	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋	その他	計	

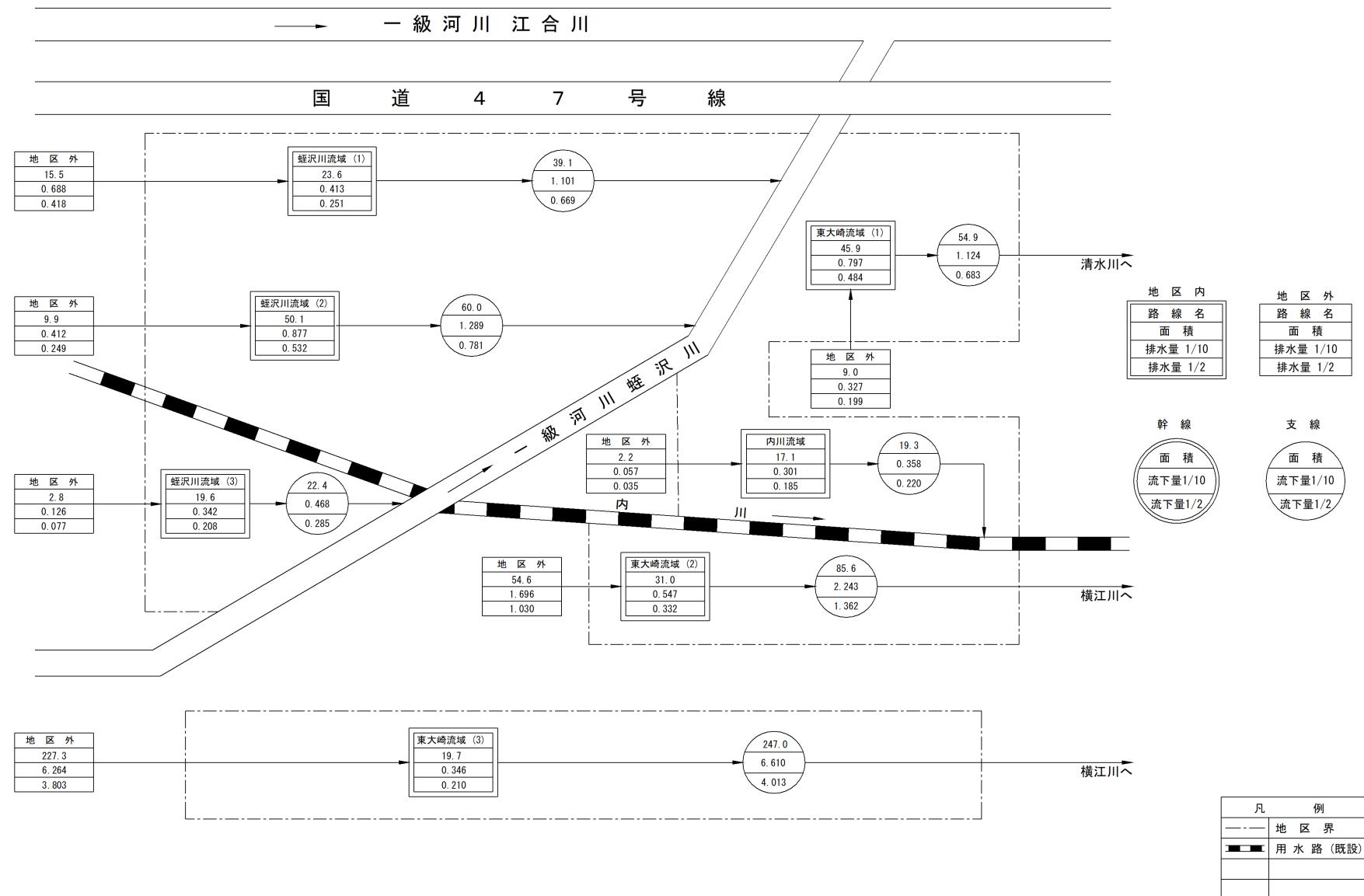
2. 排水状況

本地区の排水は、地区内の排水路を経て、一級河川蛭沢川へ直接排水、清水川排水路、内川排水路、横江川排水路にそれぞれ自然排水される。

地区内の水路は、用排兼用土水路が主のため排水が悪く汎用化耕地として支障を来している。

(1) 排水系統

現況排水系統模式図



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	施設名	排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考			
		500ha以上		500~100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha						
区画整理事業	自然	排水路	-	-	1	247.0 (19.8) 247.0 (19.7)	6	281.3 (190.5) 281.3 (187.3)	7	528.3 (210.3) 528.3 (207.0)	13.193	141.769			
		水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計		-	-	1	247.0 (19.8) 247.0 (19.7)	6	281.3 (190.5) 281.3 (187.3)	7	528.3 (210.3) 528.3 (207.0)	13.193	141.769				

() は地区内

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	施設名	項目		受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
		施設名	箇所数						
区画整理事業	自然	排水路	-	210.3 207.0	土水路、HF	L=29,027m L=29,027m	S32、S56	老朽化、漏水、用排水分離	
		水門	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	
合計		-	210.3 207.0	-	L=29,027m L=29,027m	-	-	-	

(3) 排水に関する被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況(ha)				平均減産量 作物名	備考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田	畑	その他	乾		
				平均									

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なしに付き省略

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なしに付き省略

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額						
平均被害額						

第 4 節 道 路 現 況

1. 道路概況

本地区の道路状況は、地区の北側を南北に国道47号線が走る。また、地区内には、アスファルト舗装された市道が地区の東西に整備配置されており、地区の生活道路及び国道47号線とを結ぶ地区内既設道路として重要な役割を果たしている。

地区内の農道にあっては、幅員2.0~3.0m程度が殆どで狭く未舗装状態であり、耕作・運搬・営農機械の搬入等に多大な支障を来している状況である。

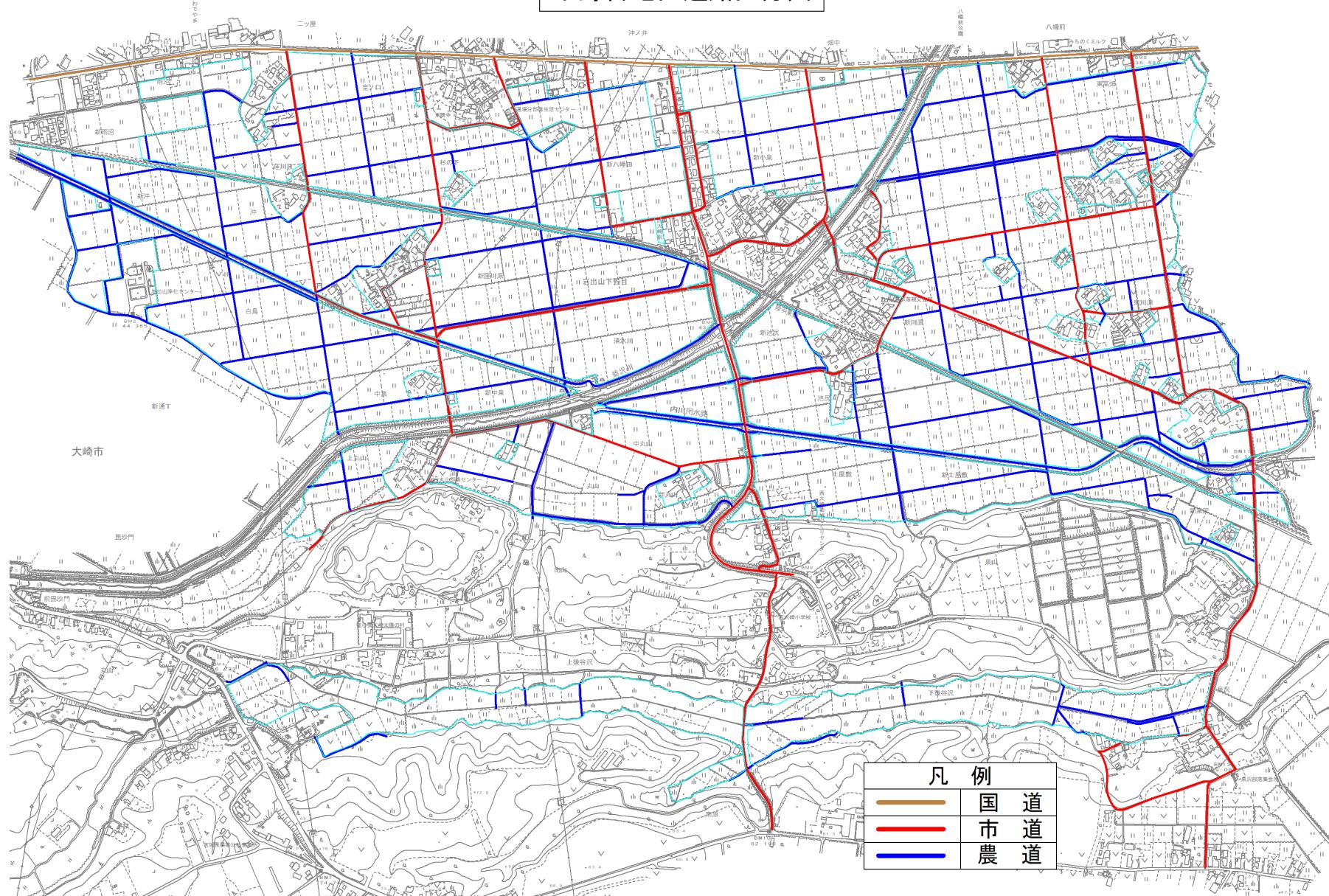
2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
1	市道	大崎市	743	3.5~5.0	2.5~4.0	アスファルト舗装	否	既設利用
2	市道	"	7,135	2.5~5.0	2.0~4.0	アスファルト舗装	要	
3	市道	"	297	3.5	2.5	砂利道	要	
4	農道	"	248	2.5~3.5	2.0~2.5	アスファルト舗装	要	
5	農道	"	29,056	2.0~4.5	1.5~3.5	砂利道	要	
	計	-	37,479	-	-	-	-	

主要道路現況図

下野目地区道路区分図



第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(平成27年版 国勢調査による)

(令和2年版 国勢調査による)

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱砂 利 採 採 石 取 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 ガ ス 水 道 熱 業 (人)	供 給 水 道 信 通 業 (人)	情 報 信 通 業 (人)	運 輸 便 業 (人)	卸 売 業 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 物 動 資 産 業 (人)	学 術 研 究 専 門 (人)	技 術 サ ー ビ ス 業 (人)	宿 泊 業 (人)	飲 食 サ ー ビ ス 業 (人)	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 (人)	ス 業 ・ 娛 楽 業 (人)	教 学 習 支 援 業 (人)	医 療 福 祉 (人)	複 ビ 合 ス サ 事 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	分 の 類 産 不 能 業 (人)	備 考
大崎市	65,942 66,887	5,216 5,133	166 169	28 23	33 17	6,554 6,465	12,797 13,512	342 343	500 532	3,584 3,664	9,467 9,725	1,013 1,001	750 750	1,321 1,441	3,503 3,460	2,207 2,167	2,879 3,105	7,687 8,531	855 864	3,418 3,796	2,176 2,189	1,446 0					
計	65,942 66,887	5,216 5,133	166 169	28 23	33 17	6,554 6,465	12,797 13,512	342 343	500 532	3,584 3,664	9,467 9,725	1,013 1,001	750 750	1,321 1,441	3,503 3,460	2,207 2,167	2,879 3,105	7,687 8,531	855 864	3,418 3,796	2,176 2,189	1,446 0					
比率 (%)	100 100	8 8	0 0	0 0	0 0	10 10	20 20	1 1	1 1	6 5	14 15	2 1	1 1	2 2	5 5	3 3	4 5	12 13	1 1	5 6	3 3	2 0					

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(2015年世界農林業センサスによる)

(2020年世界農林業センサスによる)

(第7表-2)

項目 市町村名	農業 経営 体 数 (経営体)	経営耕地広狭別農家数(戸)												1経営体当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		専兼業別農家数(戸)		備 考
		規例 定外 経 営 な し 耕 地	農 家 の 自 給 的 0.3 未 満	0.3 0.5 0.5 1.0 1.0 1.5 1.5 2.0 2.0 3.0 3.0 5.0 5.0 10.0 10.0 20.0 20.0 以上	田	畠	樹 園 地	小 地	草 地	計	1戸 当たり 面積 (ha)	団 地 面 積 (ha)	団 地 面 積 (ha)	専 業	兼 業	第 一 種	第 二 種							
大崎市	4,864 4,021	57 60	46 42	344 231	864 636	794 579	571 459	744 595	696 618	450 454	202 222	96 125	3.32 3.72	0.09 0.32	0.01 0.00	3.42 4.04	0.15 0.19	3.57 4.23	- -	- -	903 -	876 -	2,874 -	
計	4,864 4,021	57 60	46 42	344 231	864 636	794 579	571 459	744 595	696 618	450 454	202 222	96 125	3.32 3.72	0.09 0.32	0.01 0.00	3.42 4.04	0.15 0.19	3.57 4.23	- -	- -	903 -	876 -	2,874 -	
比率 (%)	100 100	1 1	1 1	7 6	19 17	16 14	12 11	15 15	14 11	9 6	4 3	2 3	93 88	3 8	0 0	96 96	4 4	100 100	- -	- -	19 -	19 -	59 -	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2015年世界農林業センサスによる)

(2020年世界農林業センサスによる)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜						備考	
	トラクター		田植機		自脱型コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚			
	数量 (台)	経営 体数	数量 (台)	経営 体数	数量 (台)	経営 体数	数量 (頭)	経営 体数	数量 (頭)	経営 体数	数量 (頭)	経営 体数		
大崎市	5,396	4,052	3,288	3,180	2,692	2,567	2,568 2,095	117 70	10,058 0	573 455	27,301 22,146	28 20	4,509 11,627	21 16
計	5,396	4,052	3,288	3,180	2,692	2,567	2,568 2,095	117 70	10,058 0	573 455	27,301 22,146	28 20	4,509 11,627	21 16
100経営体当たり数量 (台、頭、100羽)	116		71		58		55 52		216 0		587 551		97 289	
利用戸数割合	87		68		55		3 2		12 11		1 0		0 0	

4. 主要作物作付状況

宮城県農林水産統計年報 記載データなしに付き省略

(第7表-4)

市町村名	計								平均	作付率	備考
	耕地面積 (ha)	本地面積 (ha)	作付面積 (ha)	单位面積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	单位面積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	单位面積 当たり収量 (Kg/10a)			
総耕地面積 (ha)											
総本地面積 (ha)											
区分 作物名	作付面積 (ha)	单位面積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	单位面積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	单位面積 当たり収量 (Kg/10a)	作付面積 (ha)	单位面積 当たり収量 (Kg/10a)			
田 水 稲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
畑 野菜類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他作物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
樹園地 果 樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	-		-		-		-		-		-
市町村別 延べ作付率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-			

5. 農業の動向

(2015年世界農林業センサスによる)

(2020年世界農林業センサスによる)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考		
	B	A	現在	B	A	現在	作物名	B	A	現在	家畜名	B	A	現在	農器機名	B	A	現在	
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数 (経営体数)	74 83	61 69	耕 地	87 120	105 116	米	83 116	95 116	現在	乳用牛	70 89	100 73	現在	トラクター	81 91	74 -	岩出山農業振興地域整備計画 地域指定 S46 計画策定 S48 農業経営基盤強化の 促進に関する基本構想 H18	A : H. 27年 A : R. 02年 B : H. 22年 B : H. 27年 C : H. 17年 C : H. 22年
	専業農家数	105 -	99 -	田	86 122	105 118	麦類	414 177	731 0	現在	肉用牛	97 89	86 0	現在	田植機	74 86	64 -		
	第一種兼業農家数	66 -	58 -	畑	70 61	43 192	豆類	450 246	1110 276	現在	豚	94 210	198 170	現在	コンバイン	75 93	70 -		
	第二種兼業農家数	71 -	55 -	樹園地	71 171	121 82	野菜類	121 113	137 108	現在	採卵鶏	80 663	534 1,710	現在				大崎市産業振興計画 H24	
	農業従事者数	74 75	56 59	草地	182 120	218 131	果樹類	0 -	892 -	現在				現在				大崎市田園環境マスター プラン H20	
										現在			現在					地域水田農業ビジョン H25	
										現在			現在						
										現在			現在						
										現在			現在						
変化の理由	他産業への移行および、大規模農家への作業委託が進み農家数の減少。 【2020年農林業センサスにおいて、専業・第1種兼業・第二種兼業農家数の調査は行われていない。】	農地の転用が徐々に進行している。			米は安定的な作付けの進行。転作作物においては麦から豆類への転換が進んでいる。 【2020年農林業センサスにおいて、麦類・野菜類・果樹類の調査結果は大半の市町村が公表されていない。】			畜産農家の減少が進行している。			-			【2020年農林業センサスにおいて、動力農機具の調査は行われていない。】					

第 6 節 地域環境の概況

本地区は、宮城県の北部、大崎市の北西部に位置し、一級河川江合川の上流右岸に展開する南北に細長く拓けた水田地帯で、地区内には屋敷林や山林がある多様な環境がある地域である。地区周辺の用排水路には、スナヤツメ、ギバチ、ギンブナなど20種の魚介類と、ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエルなどの両生類5種が生息している。植物はシダ植物、被子植物など58科184種が確認され、豊かな自然を擁した地域である。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区の現況は、15 a 区画で整備されているが、地区の水路は殆どが用排兼用土水路で、排水路は敷高も浅く利水・維持管理に苦慮している。

農道は極めて狭小のため、大型農業機械の導入や営農の省力化等近代化農業に支障を来している状況にある。

このような状態を改善するため、区画の再整理、用排水路の分離、農道などを整備し耕地の汎用化を図る。また、農地の集団化を実施し大型機械の導入、水管理の合理化などにより生産性の高い農業基盤の整備を行うものである。

2. 事業別面積

(第 8 表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理事業											計 備 考
	水田 (ha)	普通畠 (ha)	牧草畠 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畠 (ha)	牧草畠 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)
区画整理工	172.3 169.0	2.4 1.5	-	-	-	174.7 170.5	-	-	-	-	-	174.7 170.5
暗渠排水工	68.2 13.2	-	-	-	-	68.2 13.2	-	-	-	-	-	68.2 13.2
計	172.3 169.0	2.4 1.5	-	-	-	174.7 170.5	-	-	-	-	-	174.7 170.5

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

(1) 経営方式

本地区は、ブロックローテーション方式による水稻+飼料用米+WCS用稻+大豆の作体系を確立し、担い手農家等への農地の利用集積を図り、経営規模の拡大を図るとともに大型機械の導入により土地利用型農業の安定化を図る。

(2) 経営組織及び作業体系

農地の集団化を図り、利用権設定若しくは作業委託により農地を担い手農家等に集約し、農業機械等の過剰投資の抑制と有効利用により農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事 業 名	土地利用区分 区 分	水 田	普通畠	牧草畠	果樹園	茶 園	その他	小 計	原 野	山 林	その他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理事業	現 況	181.4 181.2	4.3 2.0	-	-	-	-	185.7 183.2	-	-	24.6 23.8	210.3 207.0	
	計 画	172.3 169.0	2.4 1.5	-	-	-	-	174.7 170.5	-	-	35.6 36.5	210.3 207.0	
	現 況												
	計 画												
計	現 況	181.4 181.2	4.3 2.0	-	-	-	-	185.7 183.2	-	-	24.6 23.8	210.3 207.0	
	計 画	172.3 169.0	2.4 1.5	-	-	-	-	174.7 170.5	-	-	35.6 36.5	210.3 207.0	

3. 作付方式

(第9表-2)

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり 収量増加	
区画整理事業	水田	水稻	99.1 112.8	99.1 110.3	▲ 2.5	56 63	59 66	559 557	570 568	11 11	554.0 628.0	564.9 626.2	▲ 1.8 ▲ 1.8	— ▲ 13.9	10.9 12.1	
		飼料用米	23.9 2.3	56.0 43.0	▲ 32.1 40.7	14 1	33 26	559 557	570 568	11 11	134.0 13.0	319.6 240.4	185.6 227.4	179.4 227.1	6.2 0.3	
		大豆	10.1 28.5	13.9 8.7	▲ 3.8 ▲ 19.8	6 16	7 5	176 175	290 289	114 114	18.0 50.0	40.5 25.2	22.5 ▲ 24.8	11.0 ▲ 34.7	11.5 9.9	
		牧草	34.9 13.0	— —	▲ 34.9 ▲ 13.0	20 8	— —	736 748	736 748	— —	257.0 97.0	0.1 ▲ 0.2	▲ 256.9 ▲ 97.2	▲ 256.9 ▲ 97.2	— —	
		WCS用稻	— —	— 3.8	— 3.8	— —	— 2	— 659	— 659	— —	— —	— —	— 25.0	— 25.0	— 25.0	
		調整水田	0.7 5.9	— —	▲ 0.7 ▲ 5.9	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	
		自己保全管理	7.3 13.4	— —	▲ 7.3 ▲ 13.4	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	
	普通畑	かぼちゃ	1.9 0.8	— —	▲ 1.9 ▲ 0.8	1 —	— 746	1,240 746	1,240 746	— —	24.0 6.0	0.4 —	▲ 23.6 ▲ 6.0	▲ 23.6 ▲ 6.0	— —	
		ねぎ	2.4 1.1	2.4 1.5	— 0.4	1 1	1 1	1,412 1,532	1,412 1,532	— —	34.0 17.0	34.0 23.1	— 6.1	— 6.1	— —	
合計			180.3 177.8	171.4 167.3	▲ 8.9 ▲ 10.5	98 89	100 100	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備考			
				区分	現況	計画	増減				
区画整理事業	水田	水稻	99.1 110.3	人力	194.1 170.7	146.6 141.5	▲ 47.5 ▲ 29.2				
				機械力	84.9 90.9	67.2 71.2	▲ 17.7 ▲ 19.7				
		飼料用米	56.0 43.0	人力	194.1 170.7	146.5 141.5	▲ 47.6 ▲ 29.2				
				機械力	84.9 90.9	66.7 71.0	▲ 18.2 ▲ 19.9				
		大豆	13.9 8.7	人力	121.7 57.4	47.6 38.7	▲ 74.1 ▲ 18.7				
				機械力	86.9 45.8	39.3 30.8	▲ 47.6 ▲ 15.0				
	畑	WCS用稻	— 3.8	人力	— 145.1	— 120.7	— ▲ 24.4				
				機械力	— 49.4	— 38.3	— ▲ 11.1				
		ねぎ	2.4 1.5	人力	3,364.3 3,351.0	3,360.4 3,348.9	▲ 3.9 ▲ 2.1				
				機械力	134.3 121.0	130.4 118.9	▲ 3.9 ▲ 2.1				
合計			171.4 167.3	— —	— —	— —	— —				

6. 級地別土地利用区分

該当なしに付き省略

(第9表-5)

土地利用区分	級地別	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

該当なしに付き省略

(第9表-6)

項目	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)									備考	
		田	輪換耕地	畑					計			
区分				普通畑	牧草畑	樹園地						
増反		()	()	()	()	()	()	()	()			
入植		()	()	()	()	()	()	()	()			

第 3 節 用 水 計 画

1. 計画基準年

国営かんがい排水事業「大崎西部地区」の計画諸元に基づき、62年を計画基準年とする。

かんがい期有効雨量	384.0 mm
連続旱天日数	17日
河川渴水位	-

2. 計画かんがい方式

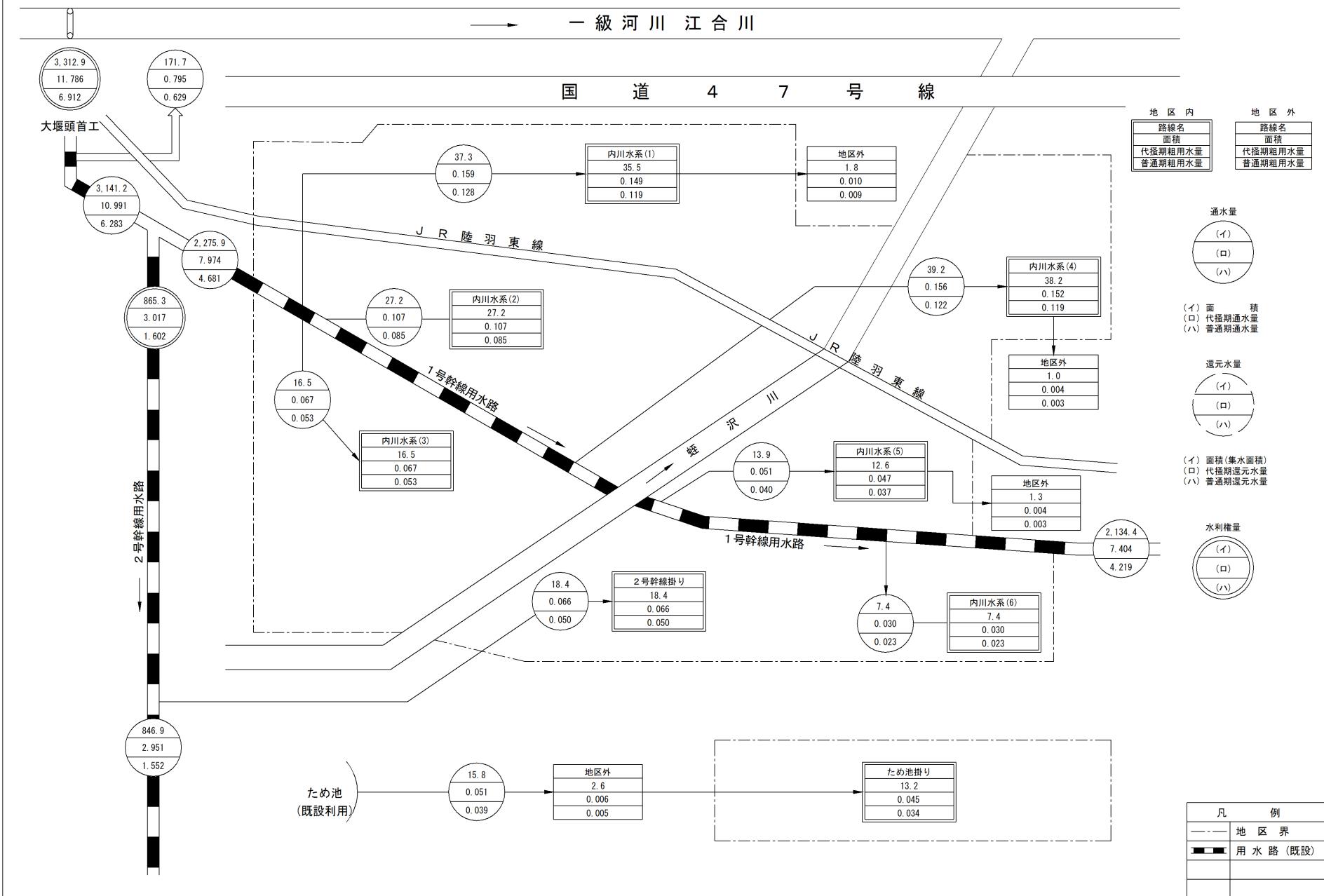
水田水稲	湛水かんがい	かんがい期間	133日	4月26日	～	9月5日
		(代搔期間)	15日	4月26日	～	5月10日)
畑地	うね間かんがい					

本地区の用水は、一級河川江合川に設置されている国営かんがい排水事業により整備された大堰頭首工から取水し、1号幹線用水路、第2幹線揚水機場、2号幹線用水路を経て、地区内の用水路に分水かんがいされる。また、一部ため池及び溪流水利用によりかんがいしている。

水田かんがい方法は、地区形状・地形勾配、現況水利状況から、開水路方式とする。

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目	種 別	面積(ha)	水 田 か ん が い			水 田 畑 利 用			畠 地 か ん が い			そ の 他		消 費 水 量	損 失 率	粗 用 水 量		備 考
			事 業 名	普 通 期	代 か き 期	面 積	一 日 平 均 当 た り か ん 水 画 面 積	平 均 間 断 日 数	面 積	一 日 平 均 当 た り か ん 水 画 面 積	平 均 間 断 日 数	面 積	計画平均 面 積	面 積	平 均 (m ³ /S)	最 大 (m ³ /S)		
		事 業 名	計画平均 単位用水量	計画代かき 単位用水量	(mm/日)		(mm)	(ha)	(mm/日)	(ha)	(mm/日)	(ha)	(mm/日)	(ha)	(m ³ /S)	(%)		
系 統 名																		
大堰頭首工	農 業	158.5 155.8	21.7	127.6	158.5 155.8	-	-	-	-	-	-	-	-	代 0.535 代 0.526 普 0.421 普 0.413	15	0.495 0.486	0.629 0.618	
下細峯ため池	農 業	13.8 13.2	21.7	127.6	13.8 13.2	-	-	-	-	-	-	-	-	代 0.040 代 0.038 普 0.030 普 0.029	15	0.035 0.034	0.047 0.045	
計		172.3 169.0	-	-	172.3 169.0	-	-	-	-	-	-	-	-	0.530 0.520	0.676 0.663			

(2) 営農飲雜水

該当なしに付き省略

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)		日 当 給 水		補 給 回 数 (回)	給 戸 数 (戸)	関 係 数	備 考				
		事 業 名		単位給水量 (リッ/日)									

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なしに付き省略

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 (千m³)	有効雨量 (千m³)	純用水量 (千m³)	粗用水量 (千m³)	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量 水源名 (千m³)	水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量 (千m³)	ほ場利用 可能量 (千m³)	純不足量 (千m³)	全不足 水量 (千m³)			
	a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d= c/(1- α) (千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)			α : 損失率
												$\alpha = \%$

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なしに付き省略

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km²)		かんがい面積(ha)			純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備考
	直 接	間 接	事 業 名	計						

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なしに付き省略

(第10表-4)

項目 貯水施設名	河川名	流域面積 (km²)	かんがい面積(ha)			取水量 (m³/s)		渴水量 (m³/s)	備考
			事業名			最 大	平 均		
					計				

(ウ) 揚水機

該当なしに付き省略

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)	所要水量(m³/s)			揚水機			備考
			最大	平均	実揚程(m)	揚水量(m³/s)	台数(Kw×台)	全揚水量(m³/s)	
計									

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m³/s)	延長 (Km)	構造	備考				
	事業名									
	区画整理事業	計								
支線用水路	(40.2) (39.5)	(40.2) (39.5)	~0.114 ~0.114	0.959 0.957	ベンチフリューム					
小用水路	172.3 169.0	172.3 169.0	~0.180 ~0.180	22.176 22.483	ベンチフリューム					
計	172.3 169.0	172.3 169.0		23.135 23.440						

() は全体面積の内数

(オ) その他の水源施設

該当なしに付き省略

(3) 水温水質

該当なしに付き省略

第 4 節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量

排水諸元は、「古川観測所」における昭和18年～平成23年までの資料により、岩井法にて確率計算された1／2年確率最大日雨量R24=79.7mm／日、1／10年確率最大日雨量R24=131.3mm／日を基準雨量として採用する。

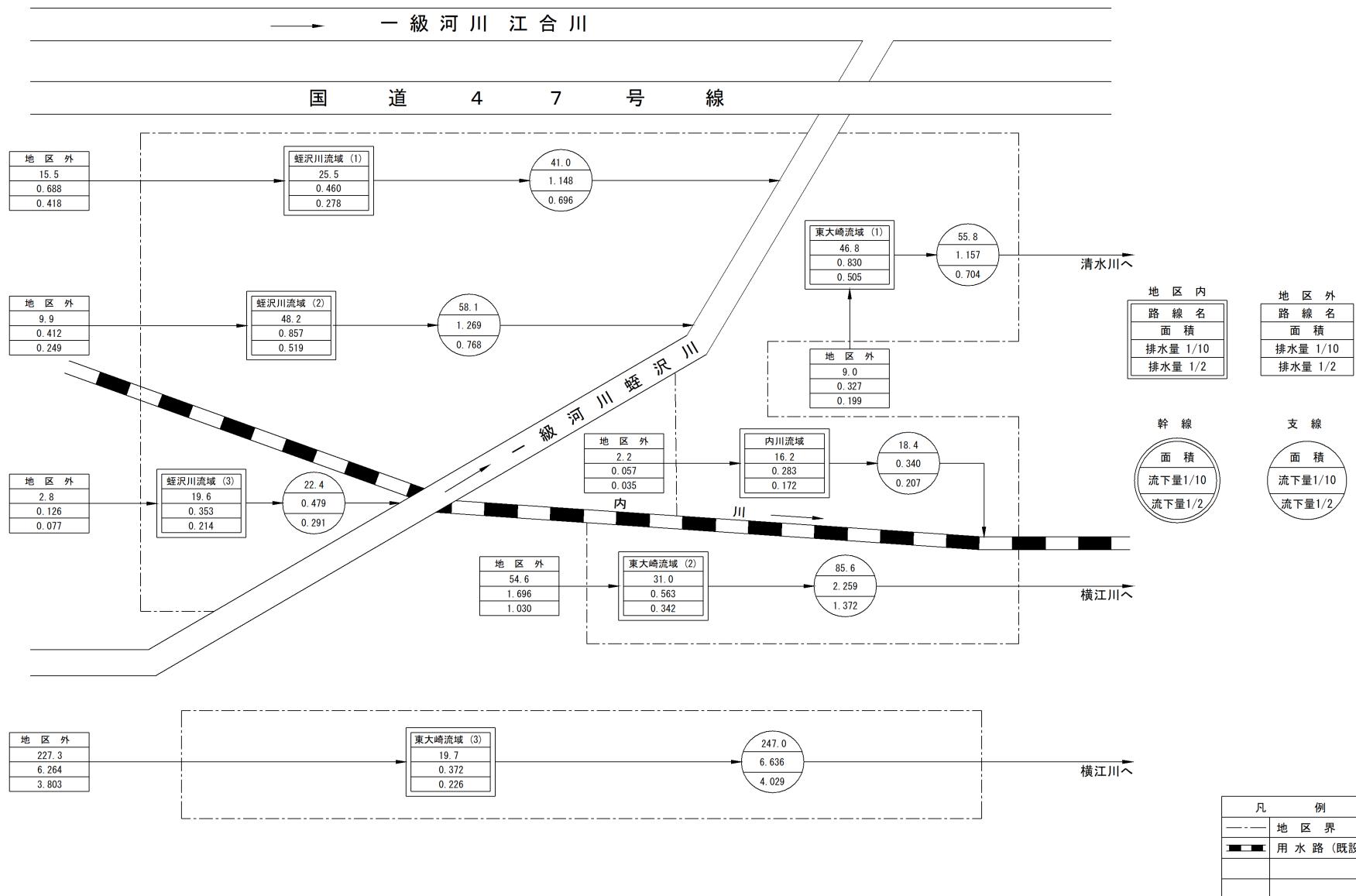
確 率 年	最 大 日 雨 量
1／ 2年確率	79. 7 mm
1／10年確率	131. 3 mm

2. 計画排水方式

本地区の排水は、地区内の排水路を経て、一級河川蛭沢川へ直接排水、清水川排水路、内川排水路、横江川排水路にそれぞれ自然排水される。

3. 計画排水系統

計画排水系統模式図



4. 計画排水量

(第11表-1)

排水系統名 項目	受益面積 (ha)	流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位 流出量 (m ³ /S/Km ²)		基底流出量 (m ³ /S/Km ²)		全排水量 (m ³ /S)		単位排水量 (m ³ /S/Km ²)		備考		
		山地	平地		山地	平地	山地	平地	平地		山地	自然排水	機械排水		
									山地	平地					
蛭沢川流域(1)	25.7 25.5	-	0.411 0.410	131.3	-	1.117~ 4.839	-	-	1.149 1.148	-	2.796 2.793				
蛭沢川流域(2)	48.0 48.2	-	0.569 0.581	"	-	"	-	-	1.248 1.269	-	2.193 2.230				
蛭沢川流域(3)	19.7 19.6	-	0.225 0.224	"	-	"	-	-	0.481 0.479	-	2.138 2.129				
東大崎流域(1)	47.7 46.8	-	0.532 0.558	"	-	"	-	-	1.112 1.157	-	2.090 2.175				
東大崎流域(2)	32.3 31.0	-	0.895 0.856	"	-	"	-	-	2.329 2.259	-	2.602 2.524				
東大崎流域(3)	19.3 19.7	-	2.465 2.470	"	-	"	-	-	6.626 6.636	-	2.688 2.692				
内川流域(1)	17.6 16.2	-	0.186 0.184	"	-	"	-	-	0.343 0.340	-	1.844 1.828				
計	210.3 207.0		5.283 5.283						13.288 13.288						

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なしに付き省略

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量		排水本川			備考	
		事業名		排水量 (m ³ /S)	地区内湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)		
			計							

(2) 排水機

該当なしに付き省略

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量		排水機				備考	
		事業名		排水量 (m ³ /S)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /S)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /S)		
			計								

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量 (m ³ /S)	延長 (km)	構造	排水本川			備考				
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /S)	計画洪水位 (m)					
		区画整理事業	計											
小排水路	0.002~1.755 0.002~1.755	210.3 207.0	210.3 207.0	0.01~3.07 0.01~3.07	25.954 25.912	排水フリューム	江合川 多田川	-	-					
承水路	~0.001 ~0.001	(0.1) (0.1)	(0.1) (0.1)	0.00~0.06 0.00~0.06	3.721 4.454	排水フリューム	江合川 多田川	-	-					
計		210.3 207.0	210.3 207.0		29.675 30.366									

() は受益面積の内数

(4) そ の 他

該当なしに付き省略

6. 湿水検討

該当なしに付き省略

第 5 節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項目 路線名	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路	5.0(4.0) × 16.810 17.750	砂利道	-	
耕作道路	3.0(2.0) × 17.794 4.0(3.0) 16.352	砂利道	-	
計	34.604 34.102			

(2) 索 道

該当なしに付き省略

(第12表-2)

項目 路線名	能 力(t/hr)	延 長(m)	接続道路名	備 考

2. 路線配置図



第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

該当なしに付き省略

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

該当なしに付き省略

2. 土壤改良

該当なしに付き省略

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壤統(区)名	PH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸收 係 數 (mg/100ml)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCL			石 灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なしに付き省略

2. 計画洪水量及び調節量

該当なしに付き省略

(第14表-1)

地點	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /S)	安全洪水量 (m ³ /S)	必要調節量 (m ³ /S)	ピーク時調節量 (m ³ /S)	ピーク時調節後流量 (m ³ /S)	調節後最大流量 (m ³ /S)	調節前後の最大流量の差 (m ³ /S)	最大調節量 (m ³ /S)

3. 貯水池

該当なしに付き省略

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /S)	貯水量(千m ³)			計画調節流量 (m ³ /S)	可能調節流量 (m ³ /S)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なしに付き省略

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なしに付き省略

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なしに付き省略

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なしに付き省略

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なしに付き省略

(3) 洪水調節要領

該当なしに付き省略

第 8 節 干拓計画

該当なしに付き省略

(第15表)

項目 名 称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

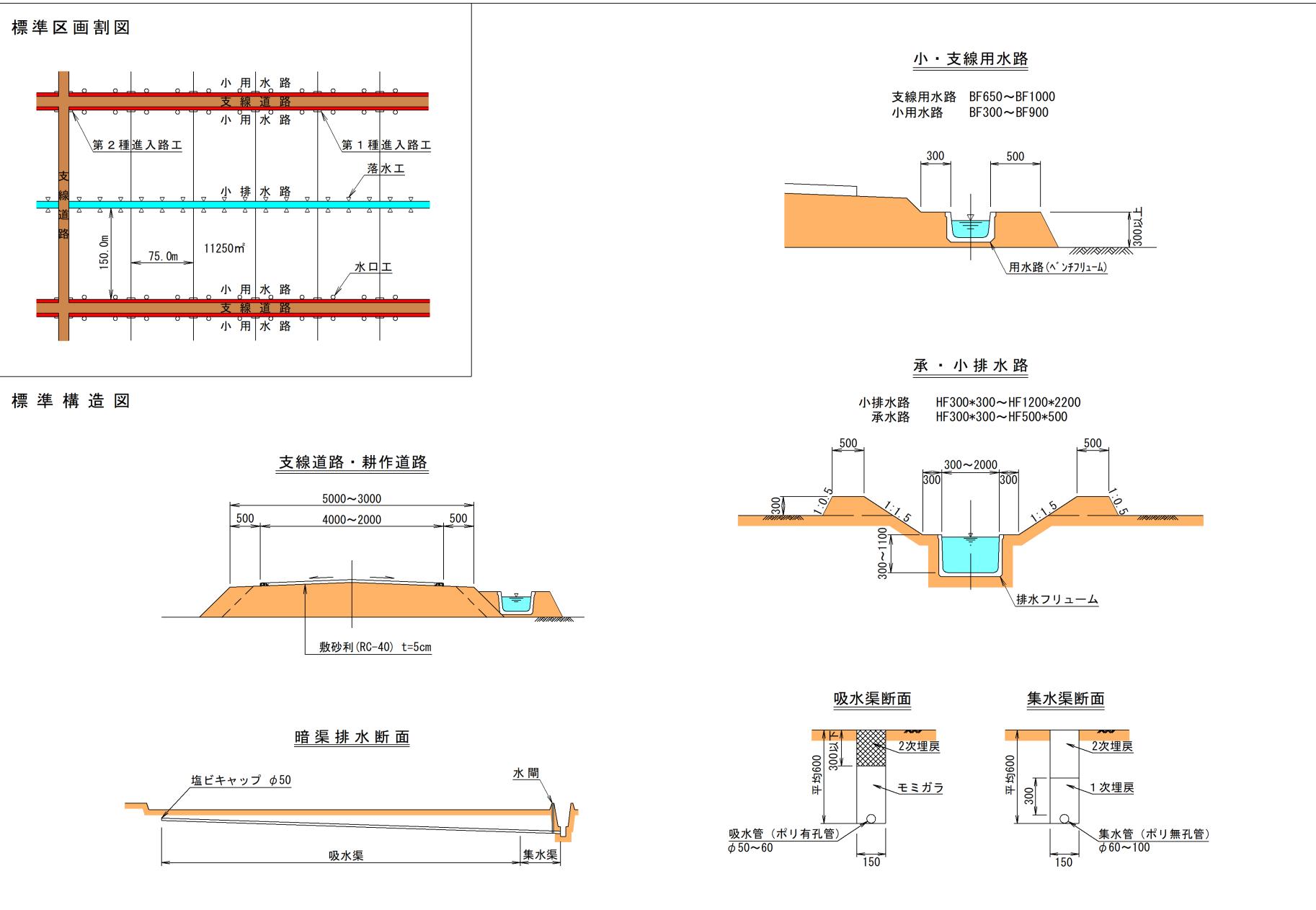
長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
150.0 × 75.0	1.0ha以上	83.6 82.6	47.8 48.4	0.3~1.5未満	
95.0 × 75.0	0.5~1.0ha未満	48.7 47.5	27.9 27.9	''	
72.0 × 55.0	0.3~0.5ha未満	30.5 30.6	17.5 17.9	''	
不整形	0.3未満	9.5 8.3	5.4 4.9	''	
	小計	172.3 169.0	98.6 99.1		
普通畠	不整形	2.4 1.5	1.4 0.9	—	
計		174.7 170.5	100.0 100.0		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
166.0			332,000	
140.4	傾斜地形による	20cm	280,800	

(3) 末端道水路配置図



2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土壤統(区)分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (m³/S/ha)	計画後 地 下 水 位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考						
	事 業 名													
	区画整理事業	計												
本暗渠	68.2 13.2	68.2 13.2	グライ土壤 強粘土構造型 (E40)	131.3	0.00347	0.5	小排水路へ 自然排水	地表残留水 30mm/日						
計	68.2 13.2	68.2 13.2												

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略

(第16表-3-2)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土壤統(区)分	土壤硬度	備 考			
	事 業 名							
		計						
計								

3. 客土

該当なしに付き省略

(第16表-4)

項 目 区 分	面 積 (ha)		土壤統 (区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m³)	土壤の性質		備 考	
	事 業 名			現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土地 (客土材料) (%)		
		計										
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なしに付き省略

(第16表-5-1)

項 目 区 分	最大風速 (m/S)		幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
	現 況 平 均	計 画 平 均			

(2) 排水工

該当なしに付き省略

(第16表-5-2)

項目 名 称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排水量		備 考
				単位排水量 (m³/S/ha)	全排水量 (m³/S)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なしに付き省略

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考	
計					

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なしに付き省略

(2) 計画洪水量

該当なしに付き省略

2. 堤体補強計画

該当なしに付き省略

3. 取水施設改修計画

該当なしに付き省略

第 5 章 主 要 工 事 計 画

第 1 節 用 水 施 設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第 17 表-1)

名 称	位 置							備 考			
		堤 体	流域面積 (Km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m ³)	基礎基盤 地 質			
洪水吐	型 式		直 接	間 接				總貯水量	有効貯水量		
			洪 水 量 (m ³ /S)	取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /S)	放 流 施 設	型 式	放 流 量 (m ³ /S)		

2. 頭 首 工

該当なしに付き省略

(第 17 表-2)

形 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m ³ /S)	付 帯 施 設	備 考
		固 定 部	可 動 部	計				

3. 揚 水 機

該当なしに付き省略

(第 17 表-3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m ³ /S)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (Kw)	台 数 (台)	
計											

4. 用 水 路

該当なしに付き省略

(第17表-4)

項 目 水 路 名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m³/S)	延長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考					
	事 業 名			開きよ	トンネル	計									
	区画整理事業	計		そ の 他											
計															

5. その他かんがい施設

該当なしに付き省略

第 2 節 排 水 施 設

1. 排水水門

該当なしに付き省略

(第18表-1)

項 目 名 称	位 置	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m³/S)	備 考

2. 排 水 機

該当なしに付き省略

(第18表-2)

項 目 名 称	位 置	排 水 量 (m³/S)	揚 程 (m)		排 水 機			原 動 機			備 考
			全 揚 程	実 揚 程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 ()	台 数 (台)	

3. 排水路

該当なしに付き省略

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積(ha)		排水量 (m³/S)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考					
	事業名			開きよ	トンネル	その他									
	区画整理事業	計				計									
計															

4. その他排水施設

該当なしに付き省略

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

該当なしに付き省略

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
計										

(2) 道路主要構造物

該当なしに付き省略

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

該当なしに付き省略

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力 ()	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根

該当なしに付き省略

(第20表-1)

区分	項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考	

(2) 除礫

該当なしに付き省略

(第20表-2)

区分	項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面積 (ha)	工法	備考	

(3) 開墾作業

該当なしに付き省略

(第20表-3)

区分	項目 区分	面積 (ha)	工法	備考	
				地目	造成工法

(4) 地目変換

該当なしに付き省略

(第20表-4)

区分	項目 区分	面積 (ha)	工法	備考	

(5) 末端用水路等
該当なしに付き省略

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(6) 末端排水路等
該当なしに付き省略

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2. 土壤改良

該当なしに付き省略

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該当なしに付き省略

2. 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工
該当なしに付き省略

(第21表-2)

名 称	位置	備考							
		型 式	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設設備
					固定部	可動部	計		

(2) 導水施設
該当なしに付き省略

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m³/s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防

該当なしに付き省略

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め

該当なしに付き省略

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 付属施設

該当なしに付き省略

4. 埋立

該当なしに付き省略

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m³)	施工方法	備考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第 23 表-1)

工区名	面積(ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	
下野目東部	174.7 170.5	150.0 × 75.0	-	166.0 140.4	332,000 280,800	

(2) 末端用水路等

(第 23 表-2)

区分	項目	数量(ヶ所、km)	規模(ha)	構造	備考
用水路		23.135 23.440	172.3 169.1	ベンチフリューム ベンチフリューム	

(3) 末端排水路等

(第 23 表-3)

区分	項目	数量(ヶ所、km)	規模(ha)	構造	備考
排水路		29.675 30.366	210.3 207.0	排水フリューム 排水フリューム	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第 23 表-4-1)

区分	面積(ha)		集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名																
	区画整理事業	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)		
本暗渠	68.2 13.2	68.2 13.2	1/500	ポリ管	Φ60 ～100	70	1/500	ポリ管	Φ50 ～60	0.6	10	920	小排水路	排水 フリューム	-		
計	68.2 13.2	68.2 13.2															

(2) 心土破碎

該当なしに付き省略

(第23表-4-2)

区分 項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考

3. 客土

該当なしに付き省略

(第23表-5)

区分 項目	面積(ha)	客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名					
	計					
計						

4. 除礫

該当なしに付き省略

(第23表-6)

区分 項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考

5. 農地保全

(1) 防風林

該当なしに付き省略

(第23表-7)

区分 項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路

該当なしに付き省略

(第23表-8)

区分 項目	延長 (m)	流量 (m ³ /S)	構造	備考

(3) 侵食防止工
該当なしに付き省略

(第23表-9)

区分 項目	構 造	数 量	備 考

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯 水 池

該当なしに付き省略

(第24表)

名 称						位 置			
堤 体	形 式	流 域 (Km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (m ³ /S)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備 考	
洪 水 吐	形 式	洪水量 (m ³ /S)	規 模 (m)	備 考	取水施設	形 式	取水量 (m ³ /S)	備 考	

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なしに付き省略

(2) 漏水防止工

該当なしに付き省略

第 6 章 附 帯 工 事 計 画

該当なしに付き省略

第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着 工 : 平成 27 年度

完 了 : 令和 6 年度
令和 7 年度

第 8 章 環 境 と 調 和 へ の 配 慮

本地区は大崎市が策定した「田園環境マスタープラン」において、環境に配慮した農業・農村づくりを進めることが明確にされており、今回の事業実施に際しては、工事施工中の濁水流出防止や貴重な動植物の施行区域外への退避等、環境との調和に配慮するものとする。

第 9 章 換 地 計 画 の 概 要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区的現況は、15ha区画で整備されたものの、地区的排水路は敷高も浅く利水・維持管理に苦慮している。農道は極めて狭小のため、大型農業機械の導入や営農の省力化等近代化農業に支障を来している状況にある。

このような状態を改善するため、区画の再整理、用排水路の分離、農道、暗渠排水などを整備し耕地の汎用化を図る。また、農地の集団化を実施し大型機械の導入、水管理の合理化などにより生産性の高い農業基盤の整備を行うものである。本事業により、生産基盤の促進が図られることから、担い手農家を育成し、本地区を作業の中心として基幹作業の受委託を促進する。このことにより、担い手農家等に農地の集積を図り、経営規模拡大を推進する。この目標を達成するため、農地の流動化、集団化を進め、農業構造改善に資する換地計画を作成することを基本方針とする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区的名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換 地 区 の 所 在	面 積(ha)
下野目東部	宮城県大崎市岩出山	210.3 207.0

2. 換地区を設定する理由

該当なしに付き省略

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
下野目東部	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合、若しくはそれと同等の実測図面が提出され、換地委員会が適当と認めた場合は、その申し出があった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位: ha)

(第25表-3)

用 途 (取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地									非農用地区域に換地する土地									機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計				
	換地区名	前	後	田	畠	山林・原野	そ の 他	通常事業施工地域に含める土地 (令第1条の9()書き)			計	本事業によつて生ずる土地改良施設用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地				国	県	市 町 村 他	合計			
								土施設	地改良	その他の小計				宅地	その他の計	計		農業経営合理化	施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用	施設用地	宅地等	計				
下野目東部	従前の土地	181.4	4.3	—	—	—	0.2	0.2	185.9	—	—	—	185.9	—	0.2	0.2	—	—	—	—	—	0.2	0.0	—	24.2	24.2	—	210.3
		181.2	2.0	0.1	—	—	0.1	0.1	183.4	—	—	—	183.4	—	0.2	0.2	0.0	—	—	—	—	—	0.2	0.1	0.2	23.1	23.4	—
	換 地	172.3	2.4	—	—	—	—	—	174.7	0.9	—	0.9	175.6	—	0.2	0.2	—	—	—	—	—	0.2	0.0	—	34.5	34.5	—	210.3
		169.0	1.5	—	—	—	—	—	170.5	—	—	—	170.5	—	0.2	0.2	0.0	—	—	0.5	—	0.5	0.7	0.1	0.2	35.5	35.8	—
合 計	従前の土地	181.4	4.3	—	—	—	0.2	0.2	185.9	—	—	—	185.9	—	0.2	0.2	—	—	—	—	—	0.2	0.0	—	24.2	24.2	—	210.3
		181.2	2.0	0.1	—	—	0.1	0.1	183.4	—	—	—	183.4	—	0.2	0.2	0.0	—	—	—	—	—	0.2	0.1	0.2	23.1	23.4	—
	換 地	172.3	2.4	—	—	—	—	—	174.7	0.9	—	0.9	175.6	—	0.2	0.2	—	—	—	—	—	0.2	0.0	—	34.5	34.5	—	210.3
		169.0	1.5	—	—	—	—	—	170.5	—	—	—	170.5	—	0.2	0.2	0.0	—	—	0.5	—	0.5	0.7	0.1	0.2	35.5	35.8	—

3. 農地集団化の方針

(第25表-4)

区 分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
下野目東部	集落別の集団化とともに担い手農家の所有農地が面的集積の核となるように集団化を図り、大区画の効用を充分に発揮できるように配慮する。	個人別の従前地の利用状況を総合勘査し集積するとともに、利用権設定もしくは作業委託をしている者については担い手農家に集約し選定するものとする。	1.5団地	大区画の機能を損なわないよう固定畦畔とし、分割する場合には畦畔を築立せず杭による分割表示を基本とする。

4. 非農用地換地方法

(第25表-5)

区 分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面 積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他
下野目東部	鉄塔用地	大崎市岩出山下野目字新達川原・新中泉・白鳥・新八幡田・清水川・新雨沼	1,589.26	特定用途用地	東北電力ネットワーク(株)	
	原野(大崎市)	大崎市岩出山下野目字南山	—	—	—	従前の地籍653.00m ² について換地を定めない。
	—	—	—	—	—	—
	ため池用地	大崎市岩出山下野目字上後谷沢	5,146.00	共同減歩見合いによる創設換地	大崎土地改良区	(土地改良施設)
	—	—	—	—	—	—
	道路用地	大崎市岩出山下野目字南川原	109.00	特定用途用地	従前所有者	(個人)
	計		1,589.26 6,844.26			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

従前の土地の中から農業生産上最も良い土地を「標準地」として選定し、その「標準地」との比較は土地の自然条件及び利用条件の評価項目を決め条件差を考慮して増減点評価する「標準地比準」方式により評価する。

2. 清算の方法

各人の従前の土地を基準として「比例地積清算」方式によるものとする。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地 の指定期 予定年度	換地計画の 決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
	平成 28 年度 から 令和 5 年度 まで 令和 5	令和 6 年度 令和 7 年度	令和 6 年度 令和 8 年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

地区全体の区画整理工事が完了し、確定測量が行われた時は、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文の規定ただし書きに基づき換地処分を行うことができる。

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

種目 区分	事業量	事業費 (千円)	備考
区画整理工	A= 210.3 ha 207.0	2,988,000 3,117,400	R元年度単価
暗渠排水工	A= 68.2 ha 13.2	154,000 27,200	R6年度単価
客土工	A= - ha	-	
測量試験費	1 式	376,000 321,700	
用地買収補償費	1 式	140,000 89,700	
換地費	1 式	169,000 191,000	
小計		3,827,000 3,747,000	
事務的経費	1 式	191,300 186,800	
計		4,018,300 3,933,800	
～関連事業 ～参考事業	計		

第 11 章 効 用

(第27表)

事業名	区別	項目	年総効果(便益)額	年增加農業所得額	備考
			(千円)	(千円)	
区画整理事業	作物生産効果	45,317 73,665	▲ 5,091 116		R元年度単価 R6年度単価
	営農経費節減効果	205,210 217,913	209,790 221,610		
	維持管理費節減効果	▲ 763 ▲ 5,544	8,079 10,123		
	景観・環境保全効果	— 1,659	— —		
	国産農産物安定供給効果	4,456 15,039	— —		
	計	254,220 302,732	212,778 231,849		

総費用額 4,946 百万円
(参考) 総便益額 5,363 百万円

総費用額 7,105 百万円
(参考) 総便益額 8,111 百万円

第 12 章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	備考
異種	国営かんがい排水事業：大崎地区 (H5～H21)	農林水産省	158.6 A= 155.8 ha (10,425.0)	ダム
異種	国営かんがい排水事業：大崎西部地区 (S60～H17)	農林水産省	158.6 A= 155.8 ha (3,312.9)	頭首工, 用水路工, 水管理施設
異種	団体営(県単)：下細峯ため池 (S52)	大崎市	10.0 A= 13.2 ha (15.8)	ため池

() は地区関連面積

第 13 章 現況・計画図面

1. 計画一般図

2. 計画平面図

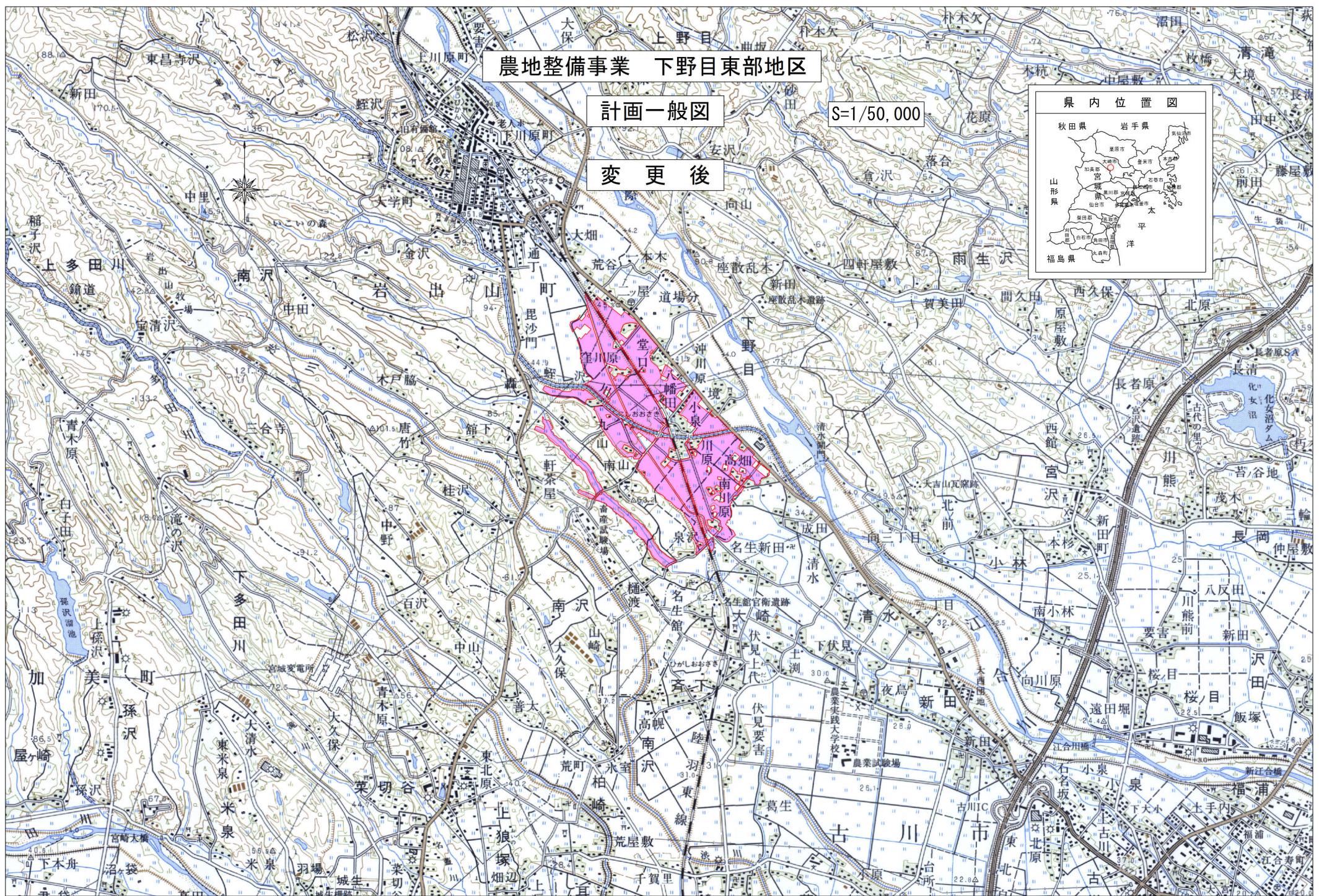
3. 土地利用計画図

農地整備事業 下野目東部地区

計画一般図

S=1/50,000

変更後



農地整備事業 下野目東部地区

計画平面図

変更後

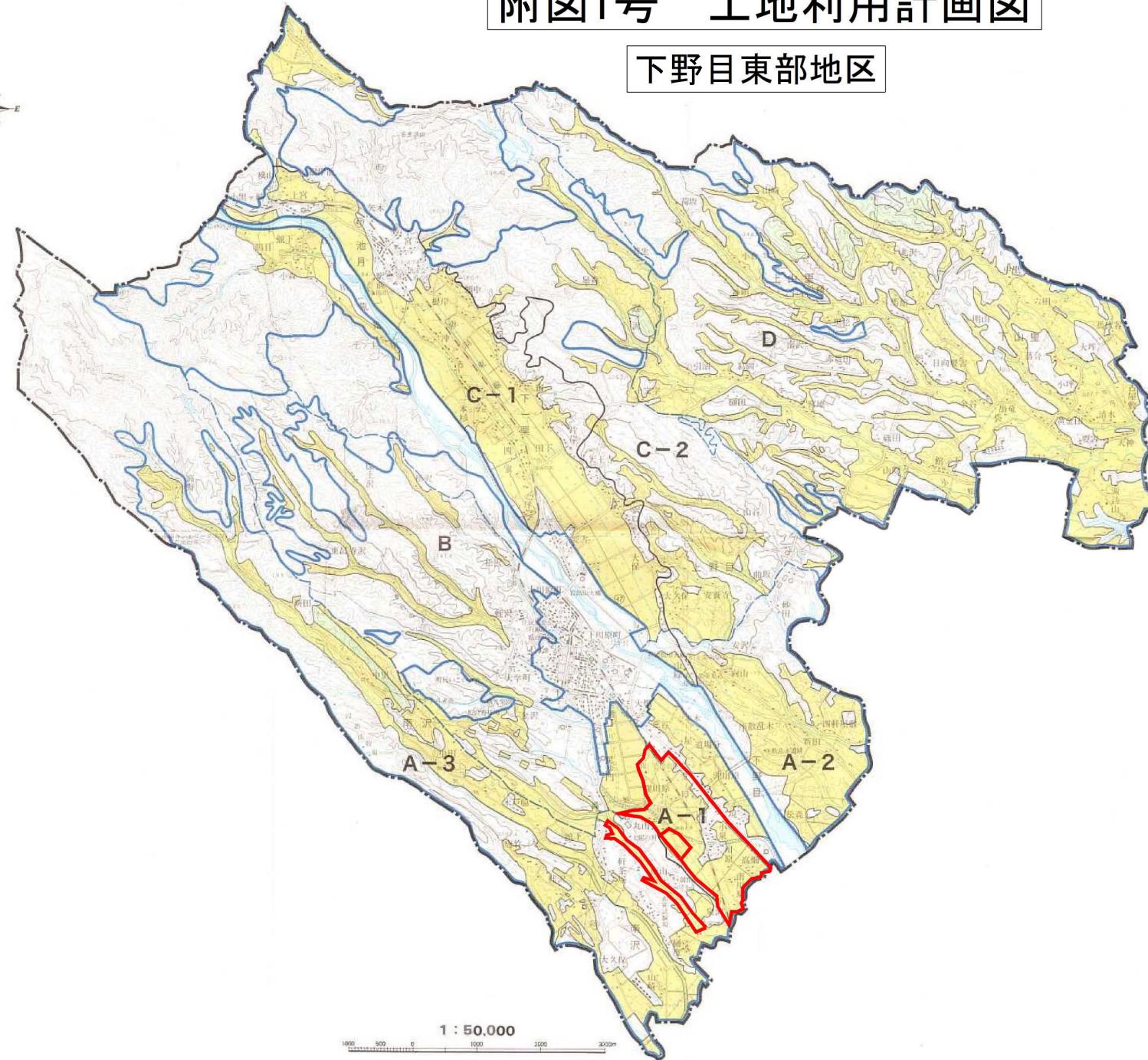
S=1:5,000



凡 例	
項	目
地	区
田	界
畑	
非	農 用 地
暗	渠 排 水 区 域
支	線 通 道
用	耕 作 道 路
排	水 路
既	設 通 道
既	設 用 水 路
既	設 排 水 路

附図1号 土地利用計画図

下野目東部地区



凡 例	
市町村界	農業振興地域界
地 区 界	農用地区界
農用地区域	地区・区域番号
混 牧 林 地	地 区 界

